



2026年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社アソインターナショナル 上場取引所 東
 コード番号 9340 URL <http://www.aso-inter.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿曾 敏正
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 濱谷 雄二 TEL 03(3547)0471
 半期報告書提出予定日 2026年2月13日 配当支払開始予定日 2026年3月31日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年7月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期中間期	2,021	8.5	320	11.1	330	18.8	235	17.4
2025年6月期中間期	1,864	8.7	288	36.0	278	36.8	200	68.1

(注) 包括利益 2026年6月期中間期 247百万円 (23.0%) 2025年6月期中間期 201百万円 (66.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期中間期	24.08	23.63
2025年6月期中間期	20.55	20.14

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期中間期	3,491	2,944	84.3
2025年6月期	3,330	2,930	88.0

(参考) 自己資本 2026年6月期中間期 2,944百万円 2025年6月期 2,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	20.00	—	11.00	31.00
2026年6月期	—	13.00	—	—	—
2026年6月期（予想）	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年6月期の第2四半期末の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,013	5.7	746	13.3	725	14.9	504	15.0	51.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期中間期	9,800,600株	2025年6月期	9,790,200株
② 期末自己株式数	2026年6月期中間期	50株	2025年6月期	50株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年6月期中間期	9,790,885株	2025年6月期中間期	9,768,565株

（注）2025年6月期中間期期中平均株式数（中間期）について、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(5) 剰余金配当(中間配当)	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、10月の新政権発足後、金融緩和政策への期待感から株価指数が一段上昇するなど、株式市場は堅調に推移しております。一方で、日中関係の緊張が高まる中、先行きの経済動向には不確実性が残っております。また、ウクライナや中東情勢における地政学的リスクも継続しており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当中間連結会計期間におきましては、社会における審美的意識の高まり、未病改善への取り組みの拡大、関連技術革新等を背景として矯正歯科業界の事業環境は引き続き順調に推移しております。

一方、2020年から2022年頃にかけては、特需により市場規模が急速に拡大いたしました。当該特需の反動もあり、現在は市場全体として安定的に推移しております。

当社グループにおきましては、一貫して顧客である歯科医療機関に対し高品質な矯正歯科技工物及び歯科用先端機材の提供、継続的歯科矯正技術の発信等を通じて顧客満足度の向上に努めてまいりました。当中間連結会計期間におきましては、ADS(アソデジタルサービス)及びデジタル設計による3Dプリントで製作した技工物の売上が、前年同中間期比で大幅に伸張したことに加え、LuxCreo製3Dプリンター及び専用レジンなどデジタル素材も好調に推移し、売上成長を牽引しました。

また、海外展開におきましては、12月にオランダ歯科技工所と業務提携しヨーロッパ市場への進出のための基盤を整えました。加えて、アメリカの大学及び有力歯科医院の新規開拓を継続的に進め、「中期経営計画2025-2028」の2年目に掲げた計画目標の達成に向けて、着実に前進しております。

以上の結果、当中間連結会計期間における経営成績は、売上高2,021,538千円(前年同中間期比8.5%増)、営業利益320,249千円(同11.1%増)、経常利益330,402千円(同18.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益235,805千円(同17.4%増)となり、増収増益となりました。

当社グループの事業は、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(売上高、売上原価、売上総利益)

売上高は、当社グループにおけるデジタル製作工程の整備により、デジタル矯正歯科技工物の売上が大幅伸張しました。また、LuxCreo製3Dプリンター、専用レジン等素材類の販売も引き続き好調であるため、前年同中間期比157,517千円増加し、2,021,538千円となりました。

売上原価は、主に商品や材料仕入、歯科技工士の労務費及び外注加工費を計上し、前年同中間期比87,614千円増加し、1,148,356千円となりました。

この結果、売上総利益は前年同中間期比69,903千円増加し、873,181千円となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

販売費及び一般管理費は、前年同中間期比37,805千円増加し、552,931千円となりました。これは主に、営業部門や管理部門の人員の給料及び手当223,918千円、役員報酬32,475千円、運賃及び荷造費55,500千円を計上したこと等によるものであります。

この結果、営業利益は前年同中間期比32,097千円増加し、320,249千円となりました。

(営業外収益、営業外費用、経常利益)

営業外収益は、主に受取利息及び配当金4,953千円、受取地代家賃2,490千円の計上等により13,038千円となりました。

営業外費用は、主に為替差損1,728千円、支払手数料796千円の計上等により2,885千円となりました。

この結果、経常利益は前年同中間期比52,277千円増加し、330,402千円となりました。

(特別利益、特別損失、法人税等合計、親会社株主に帰属する中間純利益)

法人税等合計は、主に法人税、住民税及び事業税94,733千円の計上等により94,597千円となりました。

この結果、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同中間期比35,029千円増加し、235,805千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して160,857千円増加し、3,491,811千円となりました。これは主に、現金及び預金が545,872千円減少した一方、有価証券が500,000千円、投資有価証券が140,271千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して146,350千円増加し、547,171千円となりました。これは主に、買掛金が20,452千円、未払金が111,904千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して14,506千円増加し、2,944,640千円となりました。これは主に、剰余金の配当235,098千円がある一方、親会社株主に帰属する中間純利益235,805千円を計上したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は84.3%（前連結会計年度末88.0%）となりました。

（3）キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ545,872千円減少し1,399,470千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は193,761千円（前年同中間期比13.0%減）となりました。これは主に法人税等の支払額92,026千円を計上した一方、税金等調整前中間純利益の計上330,402千円、支払手数料2,107千円、減価償却費19,936千円等を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は645,276千円（前年同中間期は28,414千円の支出）となりました。これは主に有価証券の取得による支出630,298千円、有形固定資産の取得による支出9,791千円及び保険積立金の積立による支出7,108千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は105,943千円（前年同中間期比38.0%減）となりました。これは主に配当金の支払額107,684千円等によるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期におきましても、社会における審美的な意識の高まり、未病改善への取り組み拡大等を背景として歯科矯正装置販売は堅調に推移するものと考えております。また、歯科矯正治療は現状過当競争となっている国内歯科医院業界へ安定した収益機会を提供できる一つの手段であるため、当社グループにとって、これからも国内事業環境は堅調に推移するものと考えております。

アライナーやIDBブラケット、リテーナーをはじめとする主力商品のほか、当社グループが提供する多種多様な歯科矯正技工物のニーズは引き続き高く、口腔内スキャナーや3Dプリンター等のデジタル商材の顧客への提案・プロモーション等と併せて、持続的な成長を目指してまいります。

また、アメリカ本土での販売を強化し、高品質・高付加価値の製品を継続的に提供することにより、当社グループの海外売上高をより一層拡大することを目指してまいります。

更に、グループ内での製造DX化に継続的に注力し、業務コストの削減による利益率の更なる向上を図ってまいります。

最後に、「中期経営計画2025-2028」の2年目にあたる2026年6月期は、オンライン受発注システムの再構築やアメリカでの販売チャンネル強化により事業拡大及びそれに伴う人員、製造キャパシティの更なる拡充に注力してまいります。

以上から、2026年6月期の連結業績予想としましては、売上高は前連結会計年度比5.7%増加の4,013百万円、営業利益は746百万円を見込んでおります。

（5）剰余金配当（中間配当）

当社は、会社法第454条第5項及び定款第45条に基づき、当期中間配当について、普通株式1株当たり13円とすることを2025年12月18日付で取締役会にて決議いたしました。当配当金の支払開始日は、2026年3月31日に予定しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,945,343	1,399,470
売掛金	517,770	529,941
有価証券	—	500,000
商品及び製品	45,274	60,450
仕掛品	2,330	1,796
原材料	82,032	75,516
その他	42,902	96,075
貸倒引当金	△8,298	△10,863
流動資産合計	2,627,353	2,652,388
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	25,755	26,198
機械装置及び運搬具(純額)	41,475	34,121
その他(純額)	27,051	31,339
有形固定資産合計	94,282	91,660
無形固定資産		
ソフトウェア	33,568	27,540
無形固定資産合計	33,568	27,540
投資その他の資産		
投資有価証券	228,112	368,383
保険積立金	253,958	261,067
繰延税金資産	29,585	26,742
その他	89,593	85,416
貸倒引当金	△25,501	△21,387
投資その他の資産合計	575,748	720,222
固定資産合計	703,600	839,422
資産合計	3,330,954	3,491,811
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,062	139,515
契約負債	21,862	16,728
未払金	65,687	177,591
未払法人税等	95,740	101,314
その他	85,894	99,432
流動負債合計	388,246	534,583
固定負債		
資産除去債務	12,573	12,587
固定負債合計	12,573	12,587
負債合計	400,820	547,171

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	356,589	357,460
資本剰余金	346,589	347,460
利益剰余金	2,243,286	2,243,992
自己株式	△32	△32
株主資本合計	2,946,433	2,948,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,407	7,880
為替換算調整勘定	△17,706	△12,121
その他の包括利益累計額合計	△16,299	△4,240
純資産合計	2,930,133	2,944,640
負債純資産合計	3,330,954	3,491,811

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,864,021	2,021,538
売上原価	1,060,742	1,148,356
売上総利益	803,278	873,181
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	207,888	223,918
役員報酬	33,792	32,475
運賃及び荷造費	54,564	55,500
貸倒引当金繰入額	△1,456	3,034
賞与引当金繰入額	1,325	1,334
その他	219,012	236,668
販売費及び一般管理費合計	515,126	552,931
営業利益	288,152	320,249
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,239	4,953
受取地代家賃	2,253	2,490
受取手数料	794	746
貸倒引当金戻入額	—	4,710
償却債権取立益	181	40
雑収入	373	96
営業外収益合計	4,843	13,038
営業外費用		
為替差損	9,972	1,728
支払手数料	451	796
その他	4,446	360
営業外費用合計	14,870	2,885
経常利益	278,124	330,402
税金等調整前中間純利益	278,124	330,402
法人税、住民税及び事業税	74,253	94,733
法人税等調整額	3,095	△136
法人税等合計	77,348	94,597
中間純利益	200,775	235,805
親会社株主に帰属する中間純利益	200,775	235,805

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
中間純利益	200,775	235,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	6,473
為替換算調整勘定	782	5,585
その他の包括利益合計	695	12,058
中間包括利益	201,471	247,863
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	201,471	247,863
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	278,124	330,402
減価償却費	22,565	19,936
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,282	△1,550
受取利息及び受取配当金	△1,239	△4,953
為替差損益(△は益)	2,586	6,511
支払手数料	1,407	2,107
売上債権の増減額(△は増加)	6,335	△8,161
棚卸資産の増減額(△は増加)	7,983	△7,754
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,722	20,447
未払金の増減額(△は減少)	4,979	△16,306
契約負債の増減額(△は減少)	705	△5,133
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,697	8,205
その他	△9,455	△61,054
小計	301,684	282,696
利息及び配当金の受取額	1,234	3,888
法人税等の支払額	△83,492	△92,026
法人税等の還付額	3,689	—
その他	△451	△796
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,664	193,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,821	△9,791
有価証券の取得による支出	—	△630,298
資産除去債務の履行による支出	△36	—
貸付けによる支出	△4,088	—
貸付金の回収による収入	—	1,921
保険積立金の積立による支出	△7,468	△7,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,414	△645,276
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	—	1,741
自己株式の取得による支出	△32	—
配当金の支払額	△170,869	△107,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,902	△105,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,294	11,585
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	25,641	△545,872
現金及び現金同等物の期首残高	1,899,993	1,945,343
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,925,634	1,399,470

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、「歯科矯正事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

当社グループは、「歯科矯正事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。